
5072. 原産地証明書情報内容照会

業務コード	内 容
10V	原産地証明書情報内容照会

1. 業務概要

以下のいずれかのパターンを入力し、システムに登録された原産地証明書情報及び内取情報を照会する。

- ①「照会区分」、「N-C/O番号*1」
- ②「照会区分」、「C/O番号*2」、「eC/Oキー」、「国コード*3」

「照会区分」は、「A：原産地証明書情報」、「B：内取情報のみ」、「C：帳票出力」のいずれかを指定する。

照会区分「B：内取情報のみ」の場合は、申告等番号を入力することで、入力された申告等番号で内取りされた情報のみを照会できる。

「欄番号」を入力することで、照会対象の欄番号を指定することもできる。「欄番号」を指定する際は4桁の番号を入力する（例：0001）

入力者が税関の場合は、「照会区分」、「C/O番号」と「国コード*4」の組み合わせのみでもシステムに登録された原産地証明書情報及び内取情報を照会できる。

(*1) eC/O-GWから原産地証明書情報を受信した際に、システムで払い出す番号。

(*2) 原産地証明書に設定されている番号。

(*3) 「C/O番号」と「eC/Oキー」の組み合わせを入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

(*4) 「C/O番号」を入力した結果、原産地証明書情報が複数件存在する場合に入力する。

2. 入力者

税関、通関業、輸出入者

3. 制限事項

1回での照会件数は最大20欄とする。

なお、20欄を超える場合は、照会情報を再度送信すること（以下、継続照会という。）により次の20欄を照会する。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
 - ②入力者が通関業であり、かつ「原産地証明書利用者登録（OUA）」業務にて既にC/O利用者（通関業者等の利用者コード）が登録されている場合は、C/O情報DBに登録されているC/O利用者（通関業者等の利用者コード）と同一であること。^{*5}
 - ③入力者が輸出入者であり、かつOUA業務にて既にC/O利用者（輸入者コード等）が登録されている場合は、入力者の輸出入者コードまたは法人番号が、C/O情報DBに登録されているC/O利用者（輸入者コード等）の輸出入者コードまたは法人番号と同一であること。^{*5}
- (*5) 入力者が通関業かつ輸出入者であり、OUA業務にて既にC/O利用者が登録されている場合は、②もしくは③のいずれかを満たすこと。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) C/O情報DBチェック

入力された「N-C/O番号」、「C/O番号」、「eC/Oキー」、「国コード」、「欄番号」及び「申告等番号」に係る原産地証明書情報が、C/O情報DBに存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合に処理結果コード「00000-0000-0000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、「00000-0000-0000」以外の処理結果コードを設定の上、出力情報出力処理を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(A) 照会区分による出力パターンは以下とする。

(a) 照会区分「A：原産地証明書情報」の場合

内取り有無に関わらず、入力項目に該当する原産地証明書情報を出力する。

(b) 照会区分「B：内取情報のみ」の場合

申告等番号の入力がある場合は、その申告番号で内取りされた情報のみを表示する。

申告等番号の入力がない場合は、入力項目に該当する内取情報全てを表示する。

(c) 照会区分「C：帳票出力」の場合

内取り有無に関わらず、入力項目に該当する原産地証明書情報を帳票出力する。

(B) 欄の出力方法は以下とする。なお、継続照会途中に異なる照会区分が入力された場合は、1欄目から出力する。

(a) 欄番号が入力された場合

「欄番号」に入力された値から数えて最大20欄目までを表示する。

(b) 欄番号が入力されていない場合

1欄目から最大20欄目までを表示する。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

以下の場合は、注意喚起メッセージとして出力する。

抽出対象となる原産地証明書情報の欄数が20欄を超える。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
原産地証明書情報照会情報 (画面)	照会区分に「A」または「B」が入力された場合	入力者
処理結果通知	照会区分に「C」が入力された場合	入力者
原産地証明書情報照会情報 (帳票)	照会区分に「C」が入力された場合	入力者
別紙_原産地証明書情報照会情報 (仕入書/内取情報) (帳票)	照会区分に「C」が入力された場合かつ 仕入書番号及び仕入書日付の繰返しが2以上登録されている場合、または、内取情報が7以上登録されている場合	入力者

7. 特記事項

(1) 印刷について

照会区分「A：原産地証明書情報」及び「B：内取情報のみ」の場合は、パッケージ照会画面からの印刷は実施できない。帳票を印刷したい場合は、照会区分「C：帳票出力」を使用すること。

(2) 再送防止設定について

以下の場合に再送防止を設定する。

- ① 20 欄以下の照会終了時
- ② 継続照会終了時
- ③ 「ステータス」が「INCOMPLT:不完全データ(分割電文で全量受信できていないもの)」のデータ照会時

(3) NACCSセンター照会時

入力者がNACCSセンターの場合は、「照会区分」、「C/O番号」と「国コード**4」の組み合わせのみでもシステムに登録された原産地証明書情報及び内取情報を照会できる。